児19人が参加。

今年6月、RCCメンバーらが鳴門金時の苗約900本を植えており、合図とともに畑の中に足を踏み入れた園児たちは早速、作業開始。土の中から次々と掘り出されるサツマイモに園児たちは歓声を上げて大喜び。「こんなに大きいおいもさんが獲れたよ」「こっちの方が大きいよ」などと、園児同士で自慢しあう場面があちこちで見られた。また、収穫後は、大根掘りにも挑戦し、園児1人に1本ずつプレゼントされた。

RCCでは、芋掘り以外にも、郷土民芸品の金魚ちょうちん作りを行う「夏休み親子体験工房」や白壁国際交流、福祉施設でのもちつき大会、清掃活動、講演会への参加協力などの活動を積極的に展開している。

(写真上は芋掘りに参加した3保育園の園児たち。下は収穫したサツマイモを手にする園児)

当日は、児童や地域住民によるステージイベントや展示コーナー、児童作品展、各種飲食バザー、遊休品販売、ゲームコーナー、グラウンドゴルフなどが行われる。

主催者では「児童と地域の皆様と一緒に日々の学びを表現し、楽しい1日にしましょう。お気軽じめ絶対だめ！」標語表彰

◎9時～10時＝児童発表、日本舞踊

◎13時20分～14時10分＝MGI20「マンドリンとギターのデュエット」(藤森健二&弘中俊郎)、児童有志発表

◎14時10分～14時30分＝PTA有志バンド演

水墨画、書道、木彫り、ちぎり絵、写真、手工芸、手描友禅、柳井縞、刺繍、山野草、盆栽、活花、絵手紙、短歌・俳句、昔の柳北小と当時の生活用品、親子でアロマを使った手作り石けん教室

【グラウンド】

◎11時20分～＝グラウンドゴルフ

ける山口県の観光紹介、宣伝②任期は平成27年6月1日から平成29年5月31日までの2年間(1年間20～30日程度の勤務)

◎待遇＝①勤務に際し、謝金として1日5000円～1万円と旅費、宿泊費などを支給②制服一式を支給③2年間の任期を満了した場合、30万円相

在、満18歳以上(高校生除く)で、山口県が大好きで県の良さを積極的にPRしたい人③勤務者は勤務先の了解が得られ、仕事などの制約を受けずに活動できる人

◎応募方法＝①本人または推薦者が所定の申込書に必要事項を記入し、半年以内に撮影した正面上半身、無帽の写真(カラーサービス版)1枚を添付②県内在住の確認のため、住民票を添えて応募

◎応募・問い合わせ先＝〒753-8501 山口市滝町1-1 県政資料館内、一般社団法人山口県観光連盟「山口県観光フレンズ」募集係(☎083・924・0462)

柳井おもたせ文房具を販売

木阪賞文堂が金魚グッズ開発

柳井市中央3丁目の文具店「(有)木阪賞文堂」(木阪泰之社長)は、新しい金魚ちょうちんグッズ「柳井おもたせ文房具」を販売している。

14センチ四方の箱の中に、金魚ちょうちん消しゴムや金魚ちょうちん糊、金魚ちょうちん付箋、金魚ちょうちんスケール、金魚ちょうちん鉛筆、金魚ちょうちんミニ手帳などを詰め合わせた商品である。

予算に合わせて、中に入れる金魚ちょうちん文具の選択もできる優れものである。

木阪社長は「金魚ちょうちんと柳井の良さを少しでも知ってもらいたい。手みやげに金魚ちょうちんを。手みやげに金魚ちょうちんの文房具を遠くの友人や家族、大切な人に届けたい」と、さらに新たな金魚ちょうちん関連文具やグッズの開発を行っている。

(写真は新発売の「柳井おもたせ文房具」を持つ木阪社長)

河西教授招き文化交流講座

周防大島文化交流センターの文化交流講座が23日(日)午後2時から、同センター研修室で行われる。

今回は、会館10周年、合併10周年を記念し、広島大学大学院文学研究科教授の河西英通氏を招いての講演会を実施。演題は「『ふるさと』とは何か～その語りと歴史～」。河西教授は日本近現代史が専門で、特に東北論など地域に根ざした市民の思想・意識を研究している。

定員は40人。参加費は500円。問い合わせ先は、同センター(☎0820・78・2514)まで。

指定介護予防福祉用具貸与・販売事業所